

## 会 議 録

会議の名称	平成 27 年度 第 1 回 栃木中央地域会議
開催日時	平成 27 年 6 月 3 日 (水) 18 時 30 分開会～20 時 19 分閉会
開催場所	栃木市役所本庁舎 3 階 庁議室
出席者及び欠席者氏名	別記 1 のとおり
事務局職員職氏名	別記 1 のとおり
その他出席者等	なし
会議事項	別記 2 のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0 人
その他必要事項	なし
会議の経過 (議事の要旨)	別記 3 のとおり

---

### 別記 1 出席者及び事務局

#### ○出席者 (委員)

会 長 佐山 正樹	副会長 石河 不砂
委 員 青木 良一	委 員 臼井 義雄
委 員 大浦 兼政	委 員 大波 龍郷
委 員 鬼塚 修	委 員 木村 隆夫
委 員 下田 明範	委 員 杉山 栄
委 員 鈴木 林彌	委 員 高瀬 淳
委 員 中尾 秀美	委 員 町田 爽起夫
委 員 村田 弘子	委 員 山口 真右
委 員 渡邊 一浩	

#### ○欠席者 (委員)

委 員 若林 芳明

#### ○事務局

##### 【総合政策部】

早乙女 洋 (総合政策部長)  
天海 俊充 (地域まちづくり課長兼栃木中央地域まちづくりセンター所長)  
清水 孝之 (地域まちづくり課長補佐)  
野中 聡 (地域まちづくり課主査)  
福田 英臣 (地域まちづくり課主任)  
山本 晃子 (地域まちづくり課主事)

## 別記 2 会議事項（議題及び会議結果）

### 1 開 会

### 2 あいさつ

早乙女総合政策部長

### 3 委員及び職員紹介（自己紹介）

### 4 正副会長の選出について

佐山正樹氏（学識経験者）を会長、石河不砂氏（学識経験者）を副会長に選出。

佐山会長・石河副会長 あいさつ

### 5 議 事

#### (1) 新たな地域自治制度について

事前配布した『地域会議委員の手引き』に基づいて説明。

制度の概要について、事務局の説明のとおり了承。

#### (2) 地域予算提案制度について

制度の概要及びスケジュールについて、事務局の説明のとおり了承。

#### (3) 部会について

部会の設置及び班分けについて、事務局案のとおり了承。

#### (4) 栃木市斎場再整備検討委員会委員の推薦について

鈴木林彌委員を推薦。

#### (5) 栃木中央地域会議の開催日程について

事務局案のとおり了承。

### 6 その他

#### (1) 事務連絡

・次回開催予定 平成 27 年 6 月 25 日（木） 18 時 30 分～

栃木市役所本庁舎 3 階 庁議室

### 7 閉 会

別記 3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
佐山会長	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 早乙女総合政策部長によるあいさつ。</p> <p>3 委員及び職員紹介 委員自己紹介 事務局職員自己紹介</p> <p>4 正副会長の選出について 佐山正樹氏（学識経験者）を会長、 石河不砂氏（学識経験者）を副会長に選出。</p> <p>○会長あいさつ 地域会議及び地域予算提案制度は今までにない全く新しい試みであり、私たちの提案に対して若干の予算もつくということです。栃木中央地域にとって何が一番大切か、1つに絞り込むのは容易ではありませんが、皆様のお知恵をお借りして、よりよい提案をしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。</p>
石河副会長	<p>○副会長あいさつ 私が栃木市に来て 30 年ほど暮らす中でいろいろ考えることもありまして、外部から来た者として、栃木市の素晴らしさと、今後の地域づくりに必要なものは何かということを皆様と一緒に考えていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。</p>
佐山会長	<p>それでは、会議を進行させていただきます。</p> <p>はじめに、栃木市地域づくり推進条例施行規則の第 4 条に会議録を調製することが規定されておりますが、発言者を特定せず、発言の要旨のみを記載し、議事録署名人は指定しないことにご了解いただきたいと思います。</p> <p>また、会議録はできあがり次第、市のホームページに掲載しますので、ご覧いただきたいと思ひます。</p> <p>では、議事に入ります。(1) 新たな地域自治制度について、事務局より説明を</p>

	<p>お願いします。</p>
	<p>5 議事</p>
事務局	<p>(1) 新たな地域自治制度について</p> <p>事前配布した『地域会議委員の手引き』に基づいて説明。</p>
佐山会長	<p>ありがとうございます。非常に遠大な計画をご説明いただきました。</p> <p>委員の皆様から何か質問はございますか。</p>
委員	<p>この新たな地域自治制度と同じような制度を、他市で導入している事例があれば教えていただけますか。</p>
事務局	<p>愛知県豊田市には、同じような地域会議とまちづくり実働組織（以下、「実働組織」）の2つがございます。また、同市で実施している「わくわく事業」という、まちづくり事業に対する補助制度も参考にしております。</p> <p>豊田市とは財政規模が違うため、単純な比較はできませんが、豊田市では豊富な財源で数多くの事業を活発にやっております。</p> <p>他には、大阪府豊中市、三重県名張市などでも実施しております。</p>
委員	<p>先ほどの説明の中で「地域会議と実働組織が連携していく」という話がありました。ここでいう「連携」とはどのような意味ですか。</p> <p>具体的には、地域会議が実働組織に対して何かアプローチするのか、実働組織から地域会議に何か相談があるのか、それとも実働組織の立ち上げに絡むのか、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ここでの「連携」には、大きく4つの意味があります。</p> <p>1つ目は、この地域会議で実働組織のあり方を検討していただくことです。栃木中央地域において、実働組織をどのくらいの数、どういった規模で作ればいいのかなどを地域会議の場で話し合っていたいただき、その考えをまとめたものを、実働組織の立ち上げの際に参考として活用したいと考えております。</p> <p>2つ目は、実働組織はあくまでも自主自立の組織ですので、立ち上がってから市に対して認定申請をするわけですが、その際に認定の申請書を地域会議に示して、皆様の意見をいただきます。その意見を参考に、市長が認定するかしないかを決めるという流れになります。</p> <p>3つ目は、認定された実働組織が「地域づくり事業計画」を作り、計画書を地域会議に提出します。地域会議はそれに対して様々な意見を出し、実働組織はその意見を活動の参考にすることです。</p> <p>4つ目は、地域会議と実働組織が常に情報の共有を図るようにし、地域一体となったまちづくりを推進することです。</p>

	<p>最後に、実働組織の立ち上げに際して、地域会議はあくまで側面的な支援をすることになります。直接的な支援ではございません。</p>
委員	<p>限られた時間の中で、栃木中央地域の課題をどのような方法で抽出するのでしょうか。この会議には様々な地域団体の長の方も参加されており、各団体の課題を抱えていらっしゃると思います。栃木中央地域全体の課題を抽出する具体的な方法を教えていただけますか。</p>
事務局	<p>原則としては、地域の中をご自分が見て、「この問題は解決すべき」というものがあれば、それを出していただくのがよいと思います。</p> <p>そして、たくさん出していただいたものを叩き台にして、地域予算にどれが活かせるのか、皆様に考えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>この会議の事務局は栃木中央地域まちづくりセンターですが、実働組織にも事務局が必要になってくるとおられます。補助金の対象経費はどこまで認められるのか、具体的には事務局を担う人の人件費も対象になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>実働組織の事務局は各構成団体の事務局が担うわけでありますので、こちらはあくまでも活動を支援していく形を取りたいと考えております。よって、人件費は対象となりません。</p>
委員	<p>栃木中央地域には、今のところ実働組織はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今のところはありません。</p>
委員	<p>今まで活動してきた地域団体が、何か申請をして認められれば、補助金が出るという考えで構いませんか。</p>
事務局	<p>その通りです。</p> <p>実働組織の設立、運営、事業に対して、手厚い補助を考えております。</p>
委員	<p>夢ファーレと同じようなものと考えてよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>夢ファーレは地域を限定しない、テーマ型の補助制度です。</p> <p>一方、実働組織に対する補助は栃木中央地域に限定され、地域内で活動する事業に対して補助を行います。</p> <p>ただ、実働組織へ移行が可能な各地区のまちづくり協議会でも、夢ファーレを使った事業を行っているところもありますので、どちらの補助を申請するかは、実働組織の中で決めることになります。</p>

委員	<p>実働組織の立ち上げに向けた PR はしていくのでしょうか。</p>
事務局	<p>まずは地域会議で実働組織のあり方を議論していただき、それを叩き台にして、今度は地域内の各種団体の方にお集まりいただき、地域の課題を説明したうえで、各種団体の方たちが栃木中央地域でどのような活動ができるのか、実際の組織をどう作っていくのかなどを話し合ってください。</p>
委員	<p>実働組織のイメージとしては、とちぎ協働まつりの実行委員会のようなものなのでしょうか。</p>
事務局	<p>実働組織は地域内の各種団体で構成され、しかもなるべく多くの団体から構成されるのがよいと考えております。</p> <p>よって、イメージとしては、協働まつり実行委員会が1つの構成団体となるような考えの方が近いと思われます。</p>
委員	<p>新たな地域自治制度の導入の背景として、少子高齢化による人口減という理由がありましたが、「栃木地域で今後どのようなまちづくりをしていくか」といった、全体的な議論をしないのでしょうか。</p> <p>また、この会議での議論を、栃木市総合計画の検証作業に反映させることは考えていないのでしょうか。</p>
事務局	<p>1つ目について、説明の中で人口構造の変化への対応ということを申しましたが、皆様にはこの栃木中央地域のまちづくりをどのようにしていくかについて、ご議論いただきたいと思っております。</p> <p>そして、その議論の延長線上に地域予算提案制度があつて、実現できるものを提案していただくこととなります。</p> <p>2つ目の総合計画の件につきましては、市の総務部門に市民会議という組織がありますので、検証作業はそちらに任せるのがよいと考えています。</p>
委員	<p>市民会議でも結構ですが、栃木中央地域の活性化に関しては、ここに集まった地域会議委員の皆さんが一番よく知っているはず。このメンバーで議論するのが大変貴重だと思います。</p> <p>また、このままでいくと、地域予算の提案内容が単年度で完結してしまうものに偏りそうな気がします。総合的なまちづくり、例えば、観光振興や地域活性化、コンパクトシティの実現といった目標のために、複数年にわたって事業に取り組もうとか、トータルな考えがあつて初めて個別具体的な課題も出てくるように思われるのですが、いかがですか。</p>

事務局	<p>地域予算提案制度は、毎年、地域で使える一定額が用意される制度ですので、単年度完結の事業でも、複数年度またがる事業でも提案は可能です。</p>
佐山会長	<p>質問はいくらでも出ると思います。遠大な計画ですし、組織的にも今までの民主的な制度とちょっと違う部分もありますので。</p> <p>ただ、私はこの制度を前向きに考え、風通しがよくなるチャンスだと捉えています。皆様はそれぞれの所属団体等でご活躍ですから、栃木市、そして栃木中央地域の問題点をよくご存知なはずです。</p> <p>これから、私たちは問題の解決に向けてそれらを順位付けして、予算を提案していきます。ささやかな金額かもしれませんが、私たちの力でそれらを解決できる可能性がある。そういう提案のチャンスが与えられたと前向きに考えれば、なかなか面白い制度なのかなと思っています。</p> <p>結果として、労多くして功少ないかもしれません。他の部署の屋上屋を重ねるような作業かもしれません。しかし、ちょっと難しくなった世の中で新しい風を吹かせ得るチャンスとお考えになって、この機会を利用するのがよいのかなと思っています。</p> <p>どういう地点に軟着陸できるかわかりませんが、皆様のお知恵をお借りして、少しでもいいシーンを作れるんじゃないかと、可能性がちょっとはあるんじゃないかと期待しているところです。</p> <p>それでは、この議題に関する質問はここまでとし、次の議題に移ります。(2)の地域予算提案制度について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(2) 地域予算提案制度について</p>
事務局	<p>前述『地域会議委員の手引き』及び資料に基づいて説明。</p>
佐山会長	<p>ありがとうございました。委員の皆様から何か質問はございますか。</p>
委員	<p>地域予算提案の候補の絞り込みは、次回の1回だけでやるということですか。</p>
事務局	<p>絞り込みの締切はありますが、その後でも委員の皆様からアイデアが出てまれば、所管課と協議して、出せるものであれば出していきたくと思っています。</p> <p>ただ、その場合でも予算を提案するには一定程度の時間は必要です。お示したスケジュールはタイトといえども、締切にはまだ3か月ありますので、予算提案は積み上げることができると思っています。</p>
委員	<p>地域会議として、予算提案までにこのメンバーで議論できるのは何回ですか。</p>
事務局	<p>委員全員による会議は月1回を予定していますので、6月から9月までの4回議論できます。あとは、説明が前後しますが、部会というものに分かれていただ</p>

	<p>き、そちらで詰めていくのがよいかと思えます。</p>
委員	<p>予算提案までのスケジュールの説明の中で、実働組織が出てきませんでした。協働や情報共有の面において、どのように考えればいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>栃木中央地域には、今のところ実働組織がありません。</p> <p>よって今年度は、先ほどご説明したような流れで、実働組織が立ち上がるのを側面的に支援していただくことになります。</p> <p>地域会議と実働組織が実際に協働していくのは、来年度になると思われま</p>
委員	<p>地域の課題について、栃木中央地域に限定した課題は出しづらいのではないかと思います。相当小さな課題になるかもしれないし、逆に地域を超えた非常に大きな提案が見えてくる場合もあると思いますが、それは構わないのでしょうか。</p>
事務局	<p>地域の課題はその大小にかかわらず、まずは出していきたいと思えます。出していただいたものを叩き台にして皆様にご議論いただいて、予算提案につなげていきたいと考えています。</p>
佐山会長	<p>それでは、事務局の提案どおりのスケジュールに従って作業を進めることとし、6月19日までに地域予算提案制度の事業の提案書を事務局あてに提出するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>ぜひ前向きに考えていただいて、面白いことができそうだな、新しいチャンスだと捉えていただいて、いろいろご提案いただけたらと思えます。</p> <p>では、次の議題に移ります。(3)の部会について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(3) 部会について</p> <p>資料に基づいて、総務産業建設と教育民生の2つの部会を設置すること、それぞれの班分けについて説明。</p>
佐山会長	<p>部会については、委員をひとまず2つの部会に分けて意見を集約して、問題点はそれぞれの部会で共有すると考えてよろしいですか。</p> <p>また、次回までに委員の皆様がいろいろな提案をなさると思えますが、それを事務局で振り分けたうえで、部会で議論するというところでよろしいですか。</p>
事務局	<p>その通りです。</p>
佐山会長	<p>それでは部会の設置についてお諮りします。事務局の説明にあった2つの部会を設置し、事務局案のと通りの部会の編成でよろしいでしょうか。</p>



	<b>【一同了承】</b>
佐山会長	<p>では異議がないようですので、提案の部会の編成で確定いたします。今後はこの部会により調査研究を進めてまいりたいと思います。</p> <p>次に、(4) 栃木市斎場再整備検討委員会委員の推薦について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(4) 栃木市斎場再整備検討委員会委員の推薦について 資料（生活環境部斎場整備室からの委員推薦依頼書）を説明。</p>
	<b>【鈴木林彌委員を推薦】</b>
佐山会長	<p>ありがとうございました。では、(5) 栃木中央地域会議の開催日程について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(5) 栃木中央地域会議の開催日程について 資料（年間開催スケジュール案）を説明。</p>
	<b>【一同了承】</b>
佐山会長	<p>以上で本日の協議事項は終了いたしました。 この後の進行は事務局をお願いします。</p>
事務局	<p>6 その他 (1) 事務連絡 ・ 次回開催予定 平成 27 年 6 月 25 日（木）午後 6 時 30 分～ 栃木市役所本庁舎 3 階 庁議室にて開催の予定</p>
事務局	<p>(2) その他 その他に、委員の皆様から何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>事業の提案書を作成するに当たり、それが既に市で実施済み、対応済みであることを知らずに書いてしまう場合もあると思いますが、構いませんか。</p>
事務局	<p>構いません。もし念頭に置く事業があれば、栃木中央地域まちづくりセンターに事前にお問い合わせいただければ、調べてお答えすることも可能です。</p>
	7 閉会

--	--